

思い出は新聞とともに

EPISODE

130th MINYU



福島市 福島大附属中学校3年
にしがた はなり
西形 花璃さん

2023年、みんゆうジャニア情報局こども記者として「こども記者サミット」に参加。こども家庭庁で子どもの意見を政策に反映するよう大臣に提言した。

道府県別
1位...
2位...
3位...
4位...
5位...
6位...
7位...
8位...
9位...
10位...
11位...
12位...
13位...
14位...
15位...
16位...
17位...
18位...
19位...
20位...
21位...
22位...
23位...
24位...
25位...
26位...
27位...
28位...
29位...
30位...
31位...
32位...
33位...
34位...
35位...
36位...
37位...
38位...
39位...
40位...
41位...
42位...
43位...
44位...
45位...
46位...
47位...
48位...
49位...
50位...
51位...
52位...
53位...
54位...
55位...
56位...
57位...
58位...
59位...
60位...
61位...
62位...
63位...
64位...
65位...
66位...
67位...
68位...
69位...
70位...
71位...
72位...
73位...
74位...
75位...
76位...
77位...
78位...
79位...
80位...
81位...
82位...
83位...
84位...
85位...
86位...
87位...
88位...
89位...
90位...
91位...
92位...
93位...
94位...
95位...
96位...
97位...
98位...
99位...
100位...

編集日記に「推し記者」

福島民友新聞は毎朝、父から兄、そして私といふ流れで読みます。朝食を食べながら、1面から見出しを見てページをめくり、興味のあった記事に目を通します。学校から帰ってきた大事だと感じた残

りの記事をじっくり読みます。夕食時、家族で読んだり記事を話題に議論することができます。幼い頃から家に新聞が語」は狭い地域で面白い人間模範で面白いで、重要な

「タツチ」のマンガ「いま、ふくしま」も知っている食べ物や場所が出てくるのが楽しみです。ネット記事も見ますが、見出しやレイアウトが同じで、「大切な話題かどうか」判断しにくい。新聞は見る度がひどく、中で分かりで、重要な

新聞は見出しが大きさで、重要な

新聞を読み、分別を徹底しておきました。作

するようになりました。作

文が好きで、題材はスク

ラップした新聞記事から選んでいます。

本の話題から、最近は完全違った社会の課題

に鋭く切り込むコラムな

構成力に圧倒されま

る。編集日記は毎朝楽しみ

で、見えてくるところ

が面白い。今は編集日記

で、見えてくるところ

が面白い。「推し記者」が

見えます。影響力のある

人がいる。新規開拓へ向けて、視覚的に見えます。

名前を入れたらファンが

増えると思います。

学习指導要領に「生き

る力」が大切とあります

が、まさに新聞を読めば

伝えてほしいです。

それが私の大きな目標の支えになったのであることは言うまでもない。なお、病は薬石効あり5月末に退院できたのである。

投稿を考え病と闘う

二本松市 土屋 博さん (96)

「検査の結果『進行性悪性リンパ腫』である。このままでは約半年で全身転移だ」の宣告を受け、病室の関係などから医大病院で「もう充分生きた。後悔なし」と強がってはみたものの、入院してみるとつい暗い思いばかりが頭をよぎるのだった。これまでみるといついつい暗い思いばかりが頭をよぎるのだった。これで一か月が経った。それで文書が暗くならぬように「今、私の体の中では戦争?」が起きている。」とそんな書き出しで、わざと戯文調の闇病文を「窓」が、新旧を問わず多くの知友人から懐かしの声やら激励の声をもらつたのである。

それは私の大きな闇病の支えになったのであることは言うまでもない。なお、病は薬石効あり5月末に退院できたのである。

父との思い出

相馬市 森 由香子さん (62)

新聞といえば高校まで住んでいた実家で交わした父とのやりとりを思い出す。その頃の私は、世間で話題になっている出来事に疎く、分からることがあると父に説明してもらっていた。そのとき、父は、いつも「新聞を読まないからだ。読めば、世の中のいろいろなことが分かるようになる」と読むことを勧めた。

父は、そんな私に「この部分、読んでみろ」とよく新聞を見せることがあった。「面倒くさいなあ」と思う時もあったが、それ

の場で必ず読んで父に返した。「もう読んだのか?ちゃんと読ん

福島民友新聞は、県民の友として多くの読者に支えられ130周年を迎めました。そこで福島民友新聞を日頃から読んでいる読者の声や、「思い出は新聞とともに」をテーマに募集したエピソードを紹介します。

父のトラクター

二本松市 阿部 順子さん (58)

今から17年前のことでした。私の母はガンを患い旅立ってしまいました。まだ74歳でした。父は、その時78歳でした。一番悲しみ、一番寄りそついたのは、父だったかも

ませんでした。母が亡くなり、1年後くらいの時でした。民友新聞を拝見しますと、父が畑でトラクターに乗っている写真と記事が載っていました。

父は、未熟な私に注意喚起として、反面教師として、記事を材料に世の中のことをいろいろ教えてくれました。

今でも、その時に父から教わったことは覚えているし、肝に命じていることもあります。もうこの世に父はないが、今まで私の人生に生きています。

母が亡くなり、1年後くらいの時でした。民友新聞を拝見しますと、父が畑でトラクターに乗っている写真と記事が載っていました。父は、未熟な私に注意喚起として、反面教師として、記事を材料に世の中のことをいろいろ教えてくれました。

元気をいただきました。あの時の喜んでいた父の顔を忘れることができません。

そんな父も旅立って14年になります。今は

母はきっと、母と2人で仲良くお話をしながらお茶でも飲んでいます。

心から父母へ伝えたいと思います。

とう。そして何より、民友さんへ「ありがとうございます」。

苦は樂の種

福島市 叶内 寛之さん (46)

現在、社会人25年目、46歳の銀行員です。新入行員時代に、朝聴場で新聞を読んでいたところ、先輩から「今日の新聞のポイントは? 今日の市況はどうなる?」と毎日質問責めに。うまく答えられないでいると、先輩は「新聞は出勤前に熟読して来い、今から販売店に電話して、配達時間を早めてもらえ。次の日から早朝の午前4時から2時間、新聞を読む生活が始まりました。

新聞熟読を勧めてきた先輩が連続するまでの3年間、先輩からの質問に備え新聞を読む毎日。先輩が転勤の日に「よく3年間頑張ったな、新聞を読むことは知識を頭に積んでいくこと。降り始めて最初積もらないが降り続くうちに積もる雪のように知識を積んでいく。読むのをやめたら雪が溶けていくように知識も消えていく」とアドバイスされました。

当時は苦手な先輩でしたが、その日課は現在も継続しています。今は感謝の気持ちでいっぱいです。久々にその先輩と今日の新聞のポイントを話してみたいと思う今日この頃です。

思い出の中に

会津若松市 鴨井 喜子さん (78)

新聞の広告で見つけた唐桑半島の宿。おいしい海鮮料理にひかれ、夫の運転で出かけました。日頃、山に囲まれた場所に住む私たちにとって海辺の宿は魅力的で、目の前に並ぶ新鮮な料理と地酒に夫は上機嫌。景色も満喫し、帰宅してからも広告を見ていたいよいよいました。そんな時、東日本大震災が起こりあの宿の広告が消えました。予想もしないことが起つたのです。

どのくらい経つのでしょうか、あの宿の広告を目につきました。新しい外観にほっこり、二人には忘れられない思い出になりました。

高校入試発表

会津若松市 永峯 まり子さん (66)

今から50くらい前は、県立高校合格者の名前が翌日の新聞に掲載されました。そして親せきや、先生方から祝福の言葉をいただきました。今はブライマーにも関わるが、昔は風物詩でした。

自分の名前は切りとり、今でも大事にアルバムに貼っています。また、友達の名前をみつけたり、高校生活の友人関係に役立てたり、その後は全く違う社会の課題

に鋭く切り込むコラムなど構成力に圧倒されま

る。編集日記は毎朝楽しみで、見えてくるところ

が面白い。今は編集日記

で、見えてくるところ

が面白い。「推し記者」が

増えます。影響力のある

人がいる。新規開拓へ向けて、視覚的に見えます。

名前を入れたらファンが

増えると思います。

学習指導要領に「生き

る力」が大切とあります

が、まさに新聞を読めば

伝えてほしいです。

それは私の大きな目標の支えになったのであることは言うまでもない。なお、病は薬石効あり5月末に退院できたのである。

気持ち、やる気もっと熱く!! HOTにTOHO



すべてを地域のために
東邦銀行



EPISODE

あなたと新聞エピソード

新聞に支えられ共鳴したこと

郡山市 烏谷部 祐児さん(60)

幼少期から新聞とともに暮らしてきました。母は輸送ドライバーや配達員の寮母として朝と夕飯の支度をし、そこで間借りをして生活していました。新聞のインクの匂いや、販売店で使うのりの香りも好きでした。一人っ子の私は配達員の大学生にキヤッチボールやサッカー、勉強も教わりました。時間を覚えるため作ってくれた厚紙の時計の長針と短針が動くしくみに感激したことも忘れられません。じゃれあって肩を脱臼した際、トラックで病院に連れて行ってくださり、軽傷で済みました。

中学生から高校生まで新聞配達を続け、高校の授業料は自分で賄いました。新聞配達を続けたおかげで、未熟兒で生まれた私の体も健康で過ごすことができました。

新聞配達を通じて継続力、忍耐力、粘り強さ、そして何よりも努力を学びました。

私にとって新聞は欠かせないものになっています。

再募集の案内を目にして

郡山市 長谷川 伸子さん(76)

半世紀以上も前のこと、当時は大学受験の日程や入試検定などは、新聞だけが頼りでした。当時、受験した3大学は不合格で、がつかりしておりました。思えば3月中頃、新聞の下方に大学の再募集の案内が掲載されており、私はすぐさま父に懇願し、受験することができました。

現在は喜寿直近となり、新聞は私にとって、とても楽しみの一つです。また、数十年前の知人の作品が文芸欄に掲載されていたりすると、電話を致します。懐かしさで、たわいないおしゃべりが続きます。私は生きている限り、これからも新聞とともに毎日を楽しむに日々を過ごすことでしょう。

新聞が、私を和歌を詠む道へいざなった

いわき市 木村 和子さん(64)

私は、50代に一時期、対人関係でうつ病になり入院しました。退院後は、家で少しの家事をこなした後は主人の帰りを待つというのんびりした生活を過ごした時期があります。書をしたり、好きな歌を聴いたり、また合わせて歌ったり、1人カラオケも再開させました。そんな時、同じいわき市四倉町でよく川柳や長文の「窓」欄に名前が載るなと思う人が目に止まっていたのです。その時で80代でしたが、町内の電話帳に名前が載っていたので思い切って電話しました。

不快がられず、「70代になって、ぼけ防止のために川柳を読んでみようと思って始めた。何事も継続する事が大事だよ。だから頑張って」と励まされました。

そして、「継続が大事ですよと励まされ」と詠んだ句が、みんなうれしかったことは今でも忘れない思い出です。

新聞を読んで孫が合格

いわき市 高野 尚之さん(80)

思えば今から14年前に東日本大震災、東京電力福島第一原発事故があり、2人の孫を放射能から守るために避難したことが蘇る。当時は1歳と3歳だったが、今は15歳と18歳の春を迎えるまでに成長した。そしてこの度、兄弟そろって高校と大学に合格した。家族にとって幸せなことだ。

ここまで来ると多くの道のりがあり、家族の協力が欠かせないものだった。2人の学習の柱になっていたのが、民友新聞だと聞いた。読解力が不足していたので、「みんゆうジュニア情報局」を読み通したという。漢字にフリガナがつけられているので、興味深く入り込めたようだ。自然に「みんゆうパワーアップ勉強室」にも目をつけるようになり、問題を切り取って積極的に喜んでやるようになった。2人の兄弟にとっては、新聞じられた。

大学生の孫が「社説は直接に役立った」と、高校の孫は「読解力が身につけば問題が解けやすいんだね」と合言葉を残してくれた。

民友新聞の皆さん、ありがとうございます。

喜怒哀楽の新聞配達

郡山市 横山 庄三さん(81)

私が新聞のかかわりを持つたのは、中学1年の春に、自分の意思で最寄りの新聞販売店に新聞配達の仕事をしたい旨の申し出を行い、それが認められたときです。実際、配達の仕事に入ると、雨天の日には新聞をぬらさぬよう気配りが必要です。また、各々の家で新聞を入れる箇所は大体決められているのが普通なので、間違えた箇所へ新聞を入れることがあると、その家の人にからり、ひどく叱られることがあったりもしました。辛いこともあります。新聞を届けると喜んでくれる人もいて、まあまああけっこ楽しさ配達の仕事をすることができます。これは自分にとって人生の一ページとなる貴重な経験として思い出に残ります。

ところで、新聞の強みって何だろうと考えると、私はやはり「取材に基づく報道」だと思います。それと、「一覧性」という優れた特徴。「個別宅配制度」という魅力。そして何より、立法・行政・司法の三権をチェックする「第四の権力」としての重要な役割があります。新聞はまさに国民の生活や会社などにとての「必需品」です。

ニュースの全体像把握



福島医大放射線健康管理学講座主任教授
つばくら まさる
坪倉 正治さん

大阪府出身。震災後、南相馬市立総合病院などで勤務しながら住民の内部被ばく検査を行い、人々の放射線不安に寄り添う活動を続��いた。

国が良いところです。全員がニュースだけ見ている場合、邪魔になります。新聞は定点観測できることがあります。これが「原発は大変だ」とだけ思っていません。全員がニュースを見ると、原発事故のニュースを見ると、「原発は大変だ」とだけ思っています。全員がニュースだけ見ていて、物事を判断する場合、邪魔になります。

人が、たまに原発事故のニュースを見ると、「原発は大変だ」とだけ思っています。全員がニュースを見ていて、物事を判断する場合、邪魔になります。

これが「原発は大変だ」とだけ思っています。全員がニュースを見ていて、物事を判断する場合、邪魔になります。

話題を織り交ぜながら書いています。長い続けています。長い続けると、「坪倉の記事だけかで、他の記事が読みたい」と思っててくれる人がいます。新聞でも、「○さんの記事が読みたいです」とあります。新聞でしか得られない情報が面白くて大切だと思います。例えば、校の各クラスに毎日新聞が届く日常があれば、休み時間で読んでもよいと思う子どもも出てくるかもしれません。新聞でしか得られない情報が面白くて大切だと思います。例えば、校の各クラスに毎日新聞が届く日常があれば、休み時間で読んでもよいと思う子どもも出てくるかもしれません。

あると、「坪倉の記事が読みたい」と思っている時代だからこそ、それが読者獲得につながります。新聞でしか得られない情報が面白くて大切だと思います。新聞でしか得られない情報が面白くて大切だと思います。例えば、校の各クラスに毎日新聞が届く日常があれば、休み時間で読んでもよいと思う子どもも出てくるかもしれません。

○さんの記事が読みたいです」とあります。新聞でしか得られない情報が面白くて大切だと思います。例えば、校の各クラスに毎日新聞が届く日常があれば、休み時間で読んでもよいと思う子どもも出てくるかもしれません。

福島民友新聞「窓」投稿40年

会津若松市 長沼 恵美子さん(80)

私は昭和58年12月に44歳だった主人をがんで亡くし、少し落ちていた昭和60年の「窓」への投稿から今年の3月31日で通算40年、10回掲載をさせていただきました。この投稿で同じ境遇の人達の会ができるものの、皆さんは忙な時期もあり消滅しましたが、ただ一人、南相馬の方と電話で話をしたり、秋には果物と海産物を贈り合っています。平成26年に初めてお会いできました。お互いに体を気遣い合っています。

私は昭和58年12月に44歳だった主人をがんで亡くし、少し落ちていた昭和60年の「窓」への投稿から今年の3月31日で通算40年、10回掲載をさせていただきました。この投稿で同じ境遇の人達の会ができるものの、皆さんは忙な時期もあり消滅しましたが、ただ一人、南相馬の方と電話で話をしたり、秋には果物と海産物を贈り合っています。平成26年に初めてお会いできました。お互いに体を気遣い合っています。

もっと暮らしやすく、元気と笑顔があふれる東北・新潟になるように。
いっしょにかなえたい、明日に向かって。

より、そう、ちから。
東北電力

東北電力CM
「明日に向かって」篇
ロングバージョン公開中

